

令和4年度 高齢者実態調査地区別分析結果 明倫

1 調査の目的

団塊の世代が高齢期を迎え、高齢化率が年々上昇しています。高齢者を取り巻く社会環境が大きく変化し、多様化する課題やニーズに対応するためには、行政とサービス事業所、そして地域組織が協働し、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができるようにするための「地域包括ケアシステム」の構築が必要不可欠です。

東海市では、各地域の高齢者を取り巻く課題を明らかにし、「地域包括ケアシステム」を構築するための基礎的資料及び第4次東海市総合福祉計画への反映を目的とし、「高齢者実態調査」を実施しました。

また、分析結果について関係機関等に周知し、地域課題の認識及び解決に向けた取り組みの推進を図ります。

地区別分析では、市の平均との比較から、地区の特徴を見る形で報告しています。

2 調査の内容

対象：令和4年12月末現在で75歳以上となる市内在住の高齢者

時期：令和4年（2022年）5月10日～令和4年（2022年）9月30日

方法：民生委員による個別面接調査（実態調査票）

対象者数：14,624人

有効回答数（回収率）：13,095人（89.5%）

○当該地区データ

対象者数：821人

有効回答数（回収率）：749人（91.2%）（平成29年度調査の回収数：665件）

○ 調査結果の表示方法

- ・回答数は該当者のみが回答するなど、分析方法によって違いがあります。

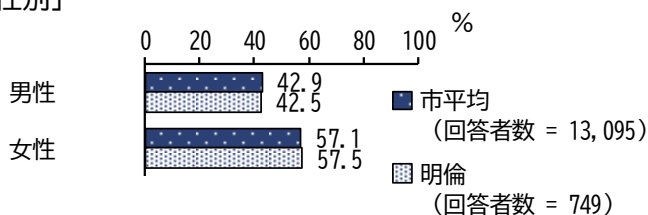
3 地区の高齢者の実態（高齢者実態調査から）

F1 性別／F2 年齢 ※住民基本台帳の情報を参考

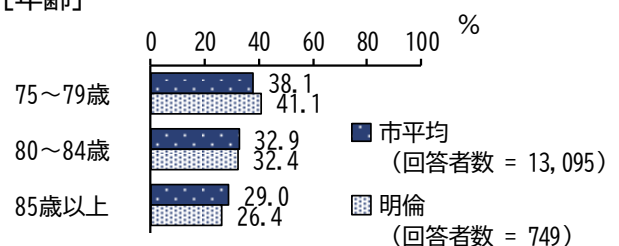
「男性」の割合が42.5%、「女性」の割合が57.5%となっています。

「75～79歳」の割合が41.1%と最も高く、次いで「80～84歳」の割合が32.4%、「85歳以上」の割合が26.4%となっています。

[性別]



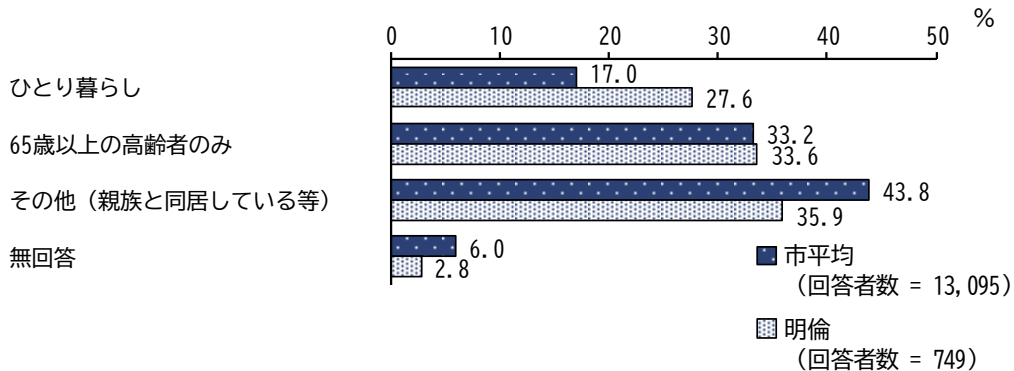
[年齢]



問1 世帯状況

「その他（親族と同居している等）」の割合が35.9%と最も高く、次いで「65歳以上の高齢者のみ」の割合が33.6%、「ひとり暮らし」の割合が27.6%となっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「ひとり暮らし」の割合が高くなっています。



【性別（問1×F1）、年齢別（問1×F2）】

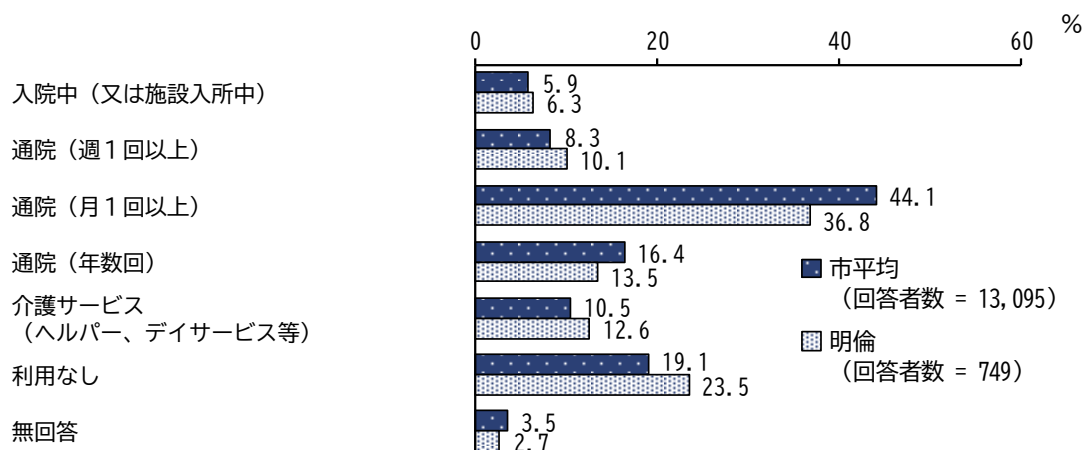
単位：%

区分		回答者数 (件)	ひとり暮らし	65歳以上の高齢者のみ	その他（親族と同居している等）	無回答
全体		749	27.6	33.6	35.9	2.8
性別	男性	318	20.4	42.8	34.3	2.5
	女性	431	32.9	26.9	37.1	3.0
年齢別	75～79歳	308	23.7	38.0	35.4	2.9
	80～84歳	243	28.4	36.2	33.7	1.6
	85歳以上	198	32.8	23.7	39.4	4.0

問2 現在病院や介護保険サービスの利用の有無（複数回答可）

「通院（月1回以上）」の割合が36.8%と最も高く、次いで「利用なし」の割合が23.5%、「通院（年数回）」の割合が13.5%となっています。

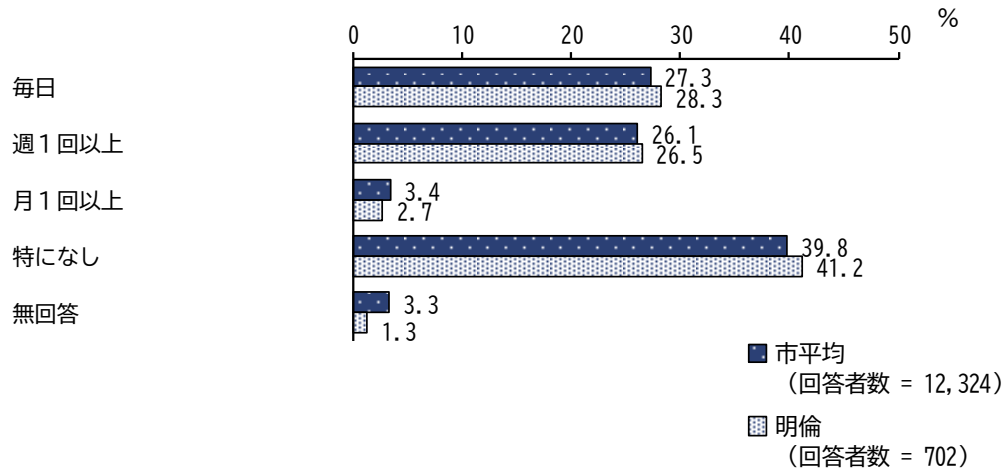
市平均と比較すると、「通院（月1回以上）」の割合が低くなっています。



問3 体操やウォーキング等、健康づくりによる取り組み状況

「特になし」の割合が41.2%と最も高く、次いで「毎日」の割合が28.3%、「週1回以上」の割合が26.5%と5割以上が週1回以上の健康づくりによる取り組みを行っています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「毎日」の割合が高くなっています。



【年齢別（問3×F2）、世帯状況別（問3×問1）、家族外交流別（問3×問4）】

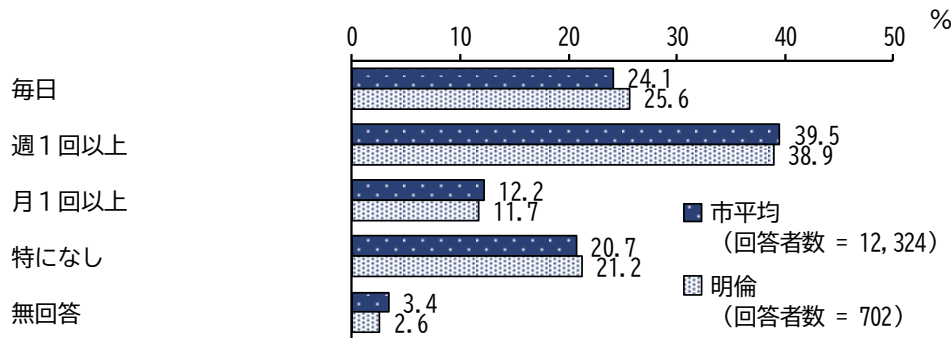
単位：%

区分		回答者数(件)	毎日	週1回以上	月1回以上	特になし	無回答
全体		702	28.3	26.5	2.7	41.2	1.3
年齢別	75～79歳	300	32.7	29.3	2.3	35.0	0.7
	80～84歳	236	30.1	24.2	2.5	41.9	1.3
	85歳以上	166	18.1	24.7	3.6	51.2	2.4
世帯状況別	ひとり暮らし	195	30.3	22.6	2.1	44.1	1.0
	65歳以上の高齢者のみ	246	28.5	29.7	2.8	37.8	1.2
	その他（親族と同居している等）	248	26.6	27.8	2.8	41.9	0.8
家族外交流別	毎日	180	52.8	19.4	2.2	25.6	-
	週1回以上	273	20.5	43.6	1.5	33.0	1.5
	月1回以上	82	25.6	18.3	7.3	48.8	-
	特になし	149	15.4	10.7	2.7	70.5	0.7

問4 家族以外の人との交流頻度

「週1回以上」の割合が38.9%と最も高く、次いで「毎日」の割合が25.6%、「特になし」の割合が21.2%となっています。

年齢別で見ると、年齢が低くなるにつれ「毎日」の割合が高くなっています。



【年齢別（問4×F2）、世帯状況別（問4×問1）】

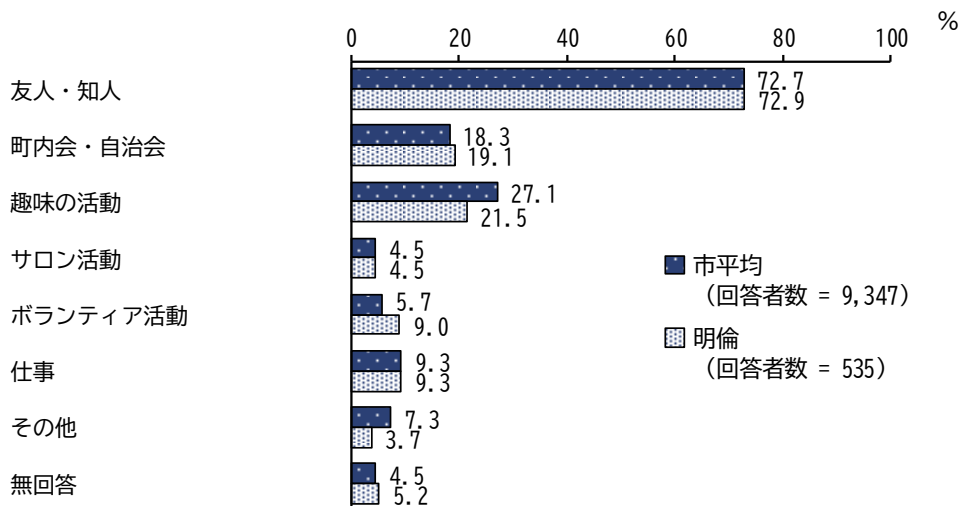
単位：%

区分		(件) 回答者数	毎日	週1回以上	月1回以上	特になし	無回答
全体		702	25.6	38.9	11.7	21.2	2.6
年齢別	75～79歳	300	28.7	39.7	12.0	18.0	1.7
	80～84歳	236	25.4	38.6	11.4	22.0	2.5
	85歳以上	166	20.5	38.0	11.4	25.9	4.2
世帯状況別	ひとり暮らし	195	29.2	39.0	10.8	17.4	3.6
	65歳以上の高齢者のみ	246	23.2	39.0	15.0	19.9	2.8
	その他（親族と同居している等）	248	25.0	38.7	9.7	25.0	1.6

問5 家族以外の交流関係

「友人・知人」の割合が72.9%と最も高く、次いで「趣味の活動」の割合が21.5%、「町内会・自治会」の割合が19.1%となっています。

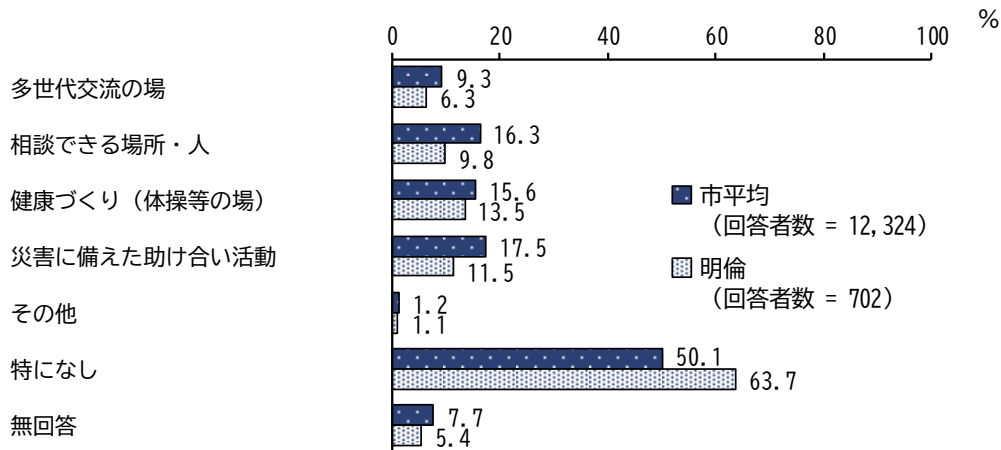
市平均と比較すると、「趣味の活動」の割合が低くなっています。



問6 安心して生活するために、今後身近な地域に必要なと感じるものは何ですか
(複数回答可)

「特になし」の割合が63.7%と最も高く、次いで「健康づくり(体操等の場)」が13.5%、「災害に備えた助け合い活動」の割合が11.5%となっています。

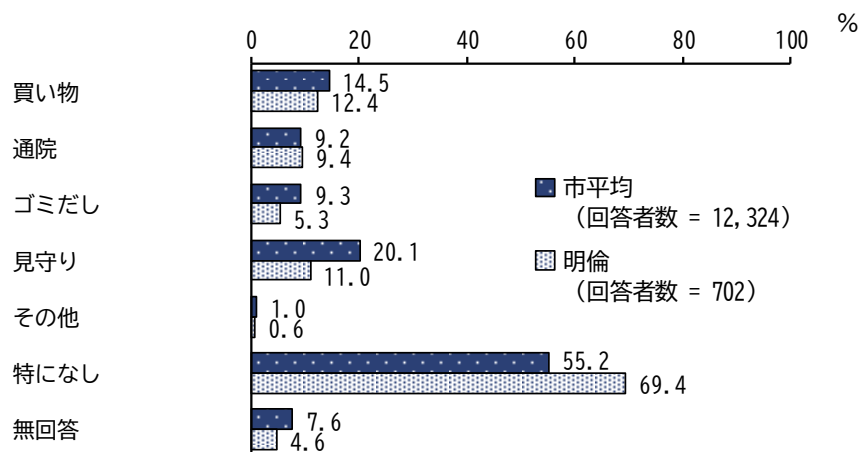
市平均と比較すると、「特になし」の割合が高くなっています。



問7 今後、地域で助け合えると良いと思うことは何ですか(複数回答可)

「特になし」の割合が69.4%と最も高く、次いで「買い物」の割合が12.4%、「見守り」の割合が11.0%となっています。

市平均と比較すると、「特になし」の割合が高くなっています。

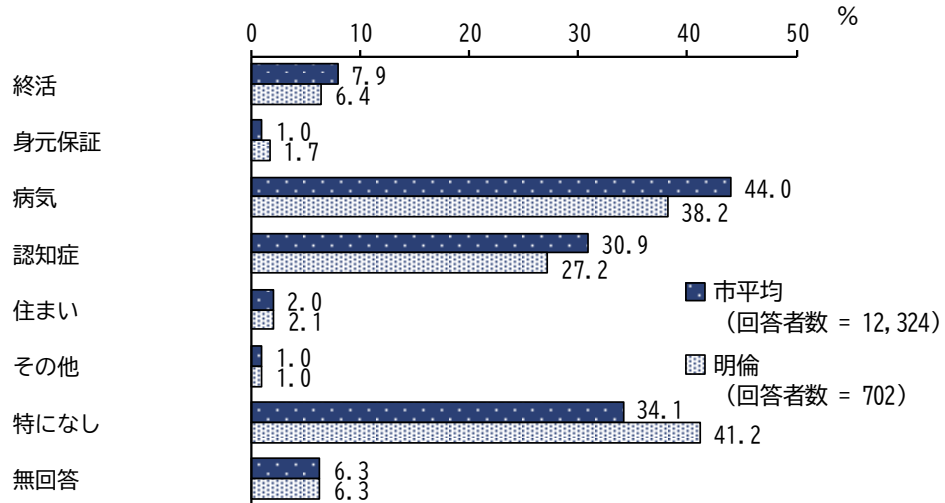


問8 将来への不安に思うことは何ですか（複数回答可）

「特になし」の割合が41.2%と最も高く、次いで「病気」の割合が38.2%、「認知症」の割合が27.2%となっています。

市平均と比較すると、「特になし」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「病気」の割合が高くなっています。また、健康活動別でみると、月1回以上で「認知症」の割合が高くなっています。



【年齢別（問8×F2）、世帯状況別（問8×問1）、健康活動別（問8×問3）、家族外交流別（問8×問4）】

単位：%

区分		回答者数 (件)	終活	身元保証	病気	認知症	住まい	その他	特になし	無回答
全体		702	6.4	1.7	38.2	27.2	2.1	1.0	41.2	6.3
年齢別	75～79歳	300	5.3	2.7	40.3	27.3	2.0	1.7	43.0	4.0
	80～84歳	236	4.7	1.3	37.7	28.4	2.5	-	41.9	5.9
	85歳以上	166	10.8	0.6	34.9	25.3	1.8	1.2	36.7	10.8
世帯状況別	ひとり暮らし	195	7.2	3.1	41.5	24.6	3.6	1.5	38.5	5.1
	65歳以上の高齢者のみ	246	7.3	2.0	39.0	28.0	0.8	0.4	39.8	7.7
	その他（親族と同居している等）	248	5.2	0.4	36.7	29.8	2.4	1.2	43.1	4.4
健康活動別	毎日	199	5.0	2.5	35.7	29.1	3.0	2.0	44.2	4.0
	週1回以上	186	10.2	2.7	43.5	29.0	2.7	1.1	37.1	3.8
	月1回以上	19	15.8	-	42.1	36.8	-	-	36.8	5.3
	特になし	289	4.5	0.7	37.4	24.2	1.4	0.3	42.6	8.0
家族外交流別	毎日	180	3.9	-	33.9	24.4	-	0.6	50.0	2.8
	週1回以上	273	8.8	1.8	44.0	28.6	2.6	0.7	35.5	5.5
	月1回以上	82	9.8	4.9	36.6	36.6	7.3	3.7	32.9	3.7
	特になし	149	3.4	1.3	32.9	23.5	1.3	0.7	47.7	10.7

4 地区の高齢者の詳細ニーズ分析（世帯状況×地域交流）

高齢者のニーズについて、世帯状況と家族以外の人との交流状況（週一回以上を“交流あり”と設定）に着眼し、2つの組み合わせで6つのタイプに分類してニーズを分析しました。

『安心して生活するために、今後身近な地域に必要と感じるもの』については、地域の環境整備として公的に必要なニーズを分析することができます。

一方で、『今後、地域で助け合えると良いと思うこと』については、自らができると思うことや人と人との助け合いにより実現できる可能性があるニーズを分析することができます。

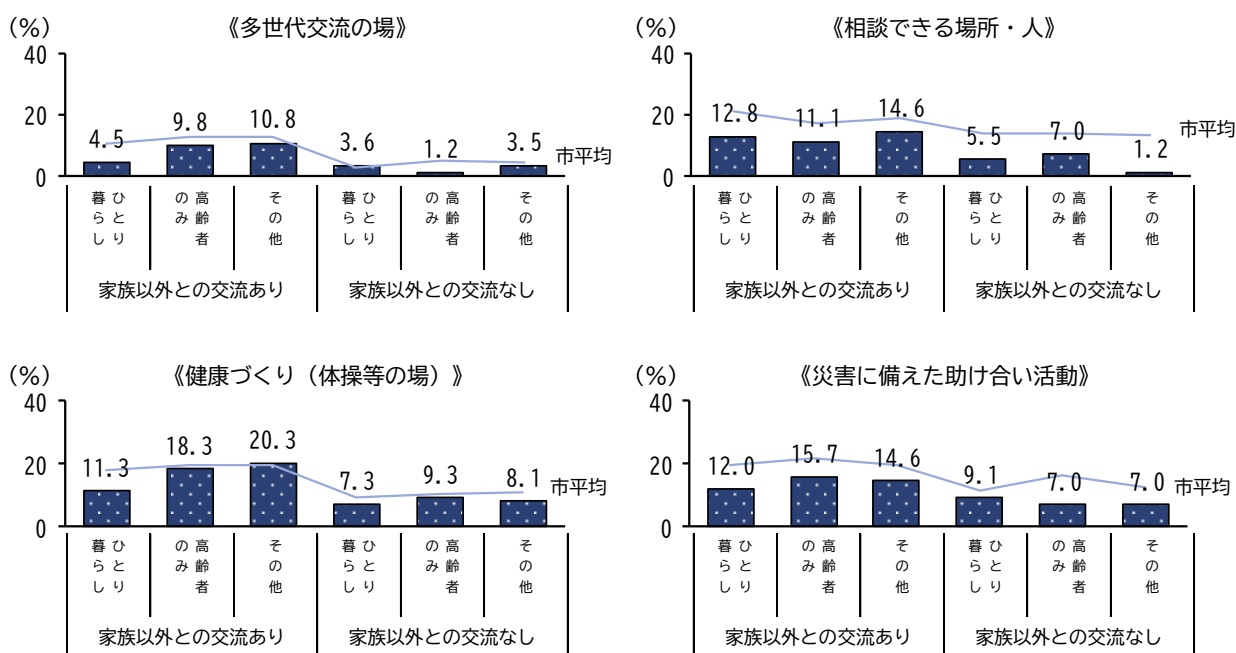
特に、市平均と比較して、高い値を示した項目は、当該地区の特徴的なニーズと言えます。

【6タイプ】

- ①家族以外との交流がある「ひとり暮らし」世帯
- ②家族以外との交流がある「65歳以上の高齢者のみ」世帯 ※“高齢者のみ”と表記
- ③家族以外との交流がある「その他（親族と同居している等）」世帯 ※“その他”と表記
- ④家族以外との交流がない「ひとり暮らし」世帯
- ⑤家族以外との交流がない「65歳以上の高齢者のみ」世帯 ※“高齢者のみ”と表記
- ⑥家族以外との交流がない「その他（親族と同居している等）」世帯 ※“その他”と表記

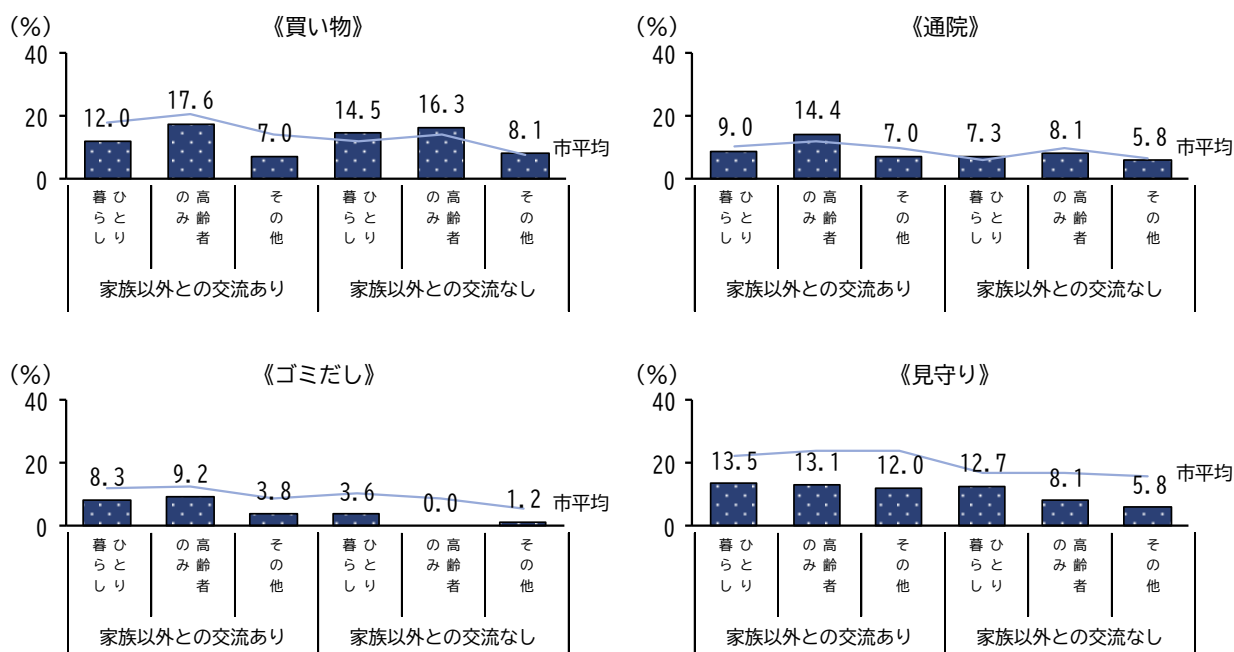
安心して生活するために、今後身近な地域に必要と感じるもの

明倫地区では、『災害に備えた助け合い活動』の割合が、家族以外との交流がない「高齢者のみ」世帯で市平均より低くなっています。



今後、地域で助け合えると良いと思うこと

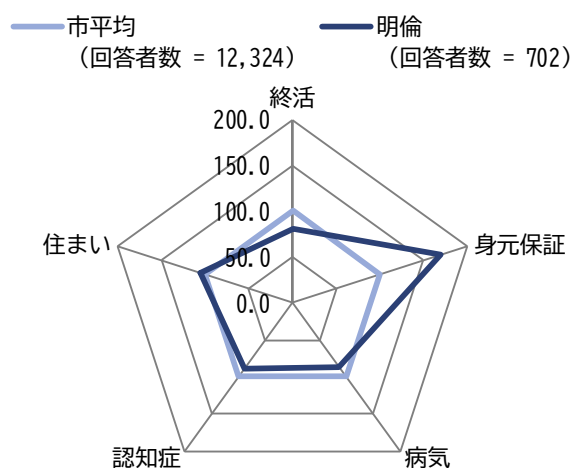
明倫地区では、『見守り』の割合が、6タイプ問わず市平均より低くなっています。



将来へ不安に思うこと

※将来へ不安に思うことについて、市平均を100.0とした時の当該地区の特徴を示しました。

【将来への不安に思うこと】



総括

明倫地区は、市平均と比較すると、「ひとり暮らし」の割合が非常に高いものの、通院や介護サービスの利用では「利用なし」の割合が高く、また、身近な地域に必要なものや、今後地域で助け合えると良いことなどでは「特になし」の割合が高いことから、ひとり暮らしでも支障のない生活を送っている人が多いことが伺えます。

地区の詳細分析では、身近な地域に必要なもの、今後地域で助け合えると良いこととして、6タイプ問わず市平均より低いものが多いものの、「家族以外と交流がないひとり暮らし」や「高齢者のみ」世帯で「買い物」が市平均より高くなっています。

明倫地区は、地域特性として、現在の生活に不安が少ないものの、将来を見越して「買い物」などの生活サービスや、健康づくり活動の創出で、地域で不安のない生活を送ることが継続できるものと期待できます。